

令和 5 年度 病床機能報告の集計結果

病床機能報告・・・医療法第30条の13の規定に基づき、
病院又は診療所であって一般病床又は療養病床を有するものは
「毎年 7 月 1 日時点における病床機能」「2025年の病床機能の予定」
「入院患者に提供する医療の内容」等を報告

令和 5 年度 対象医療機関・・・ 4 病院、4 有床診療所

- 病床機能報告の結果については、医療法第30条の13第4項の規定によりホームページにも公表予定です。
(和歌山県ホームページ) <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/byosyokinou.html>
(厚生労働省ホームページ) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000055891.html>



橋本保健所

病床機能報告における医療機能（令和5年度病床機能報告マニュアル①より）

2. 報告対象機関が病院の場合

2-1. 各病棟の病床が担う医療機能について

病床機能報告においては、**病棟ごと**に病床が担う医療機能をご報告いただきます。各医療機関のご判断で、下表の4つの中から**1つ**ご選択ください。

なお、看護人員配置別に設定されている入院基本料と病床機能報告上の医療機能との関係については、看護人員配置が手厚いほど医療密度の濃い医療を提供することが期待されて診療報酬が設定されておりますが、病床機能報告においては、看護人員配置が手厚い場合であっても、実際に提供されている医療機能を踏まえて報告するものです。

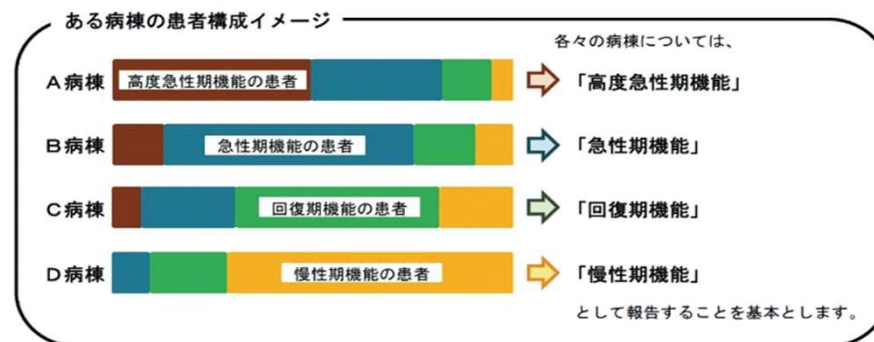
医療機能の名称	医療機能の内容
高度急性期機能	<p>○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能</p> <p>※ 以下の入院基本料の算定病棟を含め、特定の入院基本料を算定していることをもって、ただちに高度急性期機能であることを示すものではない。医療資源投入量など実際に提供されている医療内容の観点から、高度急性期機能と判断されるものについて適切に報告すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1～3） 特定機能病院入院基本料（一般7対1入院基本料） 専門病院入院基本料（一般7対1入院基本料） <p>※ 高度急性期機能に該当すると考えられる病棟の例</p> <p>救命救急病棟、集中治療室、ハイケアユニット、新生児集中治療室、新生児治療回復室、小児集中治療室、総合周産期集中治療室など、急性期の患者に対して診療密度が特に高い医療を提供する病棟</p> <p>※ 算定する特定入院料の例</p> <ul style="list-style-type: none"> 救命救急入院料（救命救急入院料1～4） 特定集中治療室管理料（特定集中治療室管理料1～4） ハイケアユニット入院医療管理料（ハイケアユニット入院医療管理料1～2） 脳卒中ケアユニット入院医療管理料 小児特定集中治療室管理料 新生児特定集中治療室管理料（新生児特定集中治療室管理料1～2） 総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児集中治療室管理料、新生児集中治療室管理料） 新生児治療回復室入院医療管理料
急性期機能	<p>○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能</p> <p>※ 以下の入院基本料の算定病棟を含め、特定の入院基本料を算定していることをもって、ただちに急性期機能であることを示すものではない。医療資源投入量など、実際に提供されている医療内容の観点から急性期機能と判断されるものについて適切に報告すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1～6） 特定機能病院入院基本料（一般7対1入院基本料、一般10対1入院基本料） 専門病院入院基本料（一般7対1入院基本料、一般10対1入院基本料） 一般病棟入院基本料（地域一般入院料1～2） 専門病院入院基本料（一般13対1入院基本料） <p>※ 算定する特定入院料の例</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病棟入院料（地域包括ケア病棟入院料1～4、地域包括ケア入院医療管理料1～4）

回復期機能	<p>○ 急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能</p> <p>○ 特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能）</p> <p>※ 以下の入院基本料の算定病棟を含め、医療資源投入量など、実際に提供されている医療内容の観点から回復期機能と判断されるものについて適切に報告すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般病棟入院基本料（急性期一般入院料4～6、地域一般入院料1～3） 特定機能病院入院基本料（一般10対1入院基本料） 専門病院入院基本料（一般10対1入院基本料、一般13対1入院基本料） <p>※ 算定する特定入院料の例</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病棟入院料（地域包括ケア病棟入院料1～4、地域包括ケア入院医療管理料1～4） 回復期リハビリテーション病棟入院料（回復期リハビリテーション病棟入院料1～6）
慢性期機能	<p>○ 長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能</p> <p>○ 長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能</p> <p>※ 以下の入院基本料の算定病棟を含め、医療資源投入量など、実際に提供されている医療内容の観点から慢性期機能と判断されるものについて適切に報告すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般病棟入院基本料（地域一般入院料1～3） 専門病院入院基本料（一般13対1入院基本料） 療養病棟入院基本料（療養病棟入院料1～2） 障害者施設等入院基本料（障害者施設等7対1入院基本料、障害者施設等10対1入院基本料、障害者施設等13対1入院基本料、障害者施設15対1入院基本料） <p>※ 算定する特定入院料の例</p> <ul style="list-style-type: none"> 特殊疾患入院医療管理料 特殊疾患病棟入院料（特殊疾患病棟入院料1～2） 地域包括ケア病棟入院料（地域包括ケア病棟入院料1～4、地域包括ケア入院医療管理料1～4）

2-3. 医療機能の選択における基本的な考え方

病床機能報告においては、病棟が担う医療機能をいずれか1つ選択して報告することとされていますが、実際の病棟には様々な病期の患者が入院していることから、下図のように当該病棟において**最も多くの割合を占める患者に相当する機能を報告することを基本とします**。

なお、病床機能報告は、医療機関のそれぞれの病棟が担っている医療機能を把握し、地域における医療機能の分化・連携を進めることを目的として行われるものであり、**病床機能報告においていずれの医療機能を選択されても、診療報酬上の入院料等の選択等に影響を与るものではありません**。



病床機能報告における医療機能（令和５年度病床機能報告マニュアル①より）

３．報告対象機関が有床診療所の場合

３－１．有床診療所における医療機能について

有床診療所については、施設全体を**１病棟**と考え、**施設単位**でご報告いただきます。医療機能については、下表の４つの中から１つをご選択ください。

※ 有床診療所には様々な患者が入院していることを踏まえてご回答ください。

医療機能の名称	医療機能の内容
高度急性期機能	○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
急性期機能	○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期機能	○ 急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能 ○ 特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ＡＤＬの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能）
慢性期機能	○ 長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 ○ 長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能

有床診療所は、病床数が１９床以下と小規模であり、また、地域の医療ニーズに対応して多様な役割を担っていることを踏まえ、以下のような機能の選択の例が考えられます。

（例）

- ・ 産科や整形外科等の単科で手術を実施している有床診療所 → 急性期機能
- ・ 在宅患者の急変時の受入れや急性期経過後の患者の受入れ等、幅広い病期の患者に医療を提供している有床診療所 → 急性期機能又は回復期機能のいずれか
- ・ 病床が全て療養病床の有床診療所 → 慢性期機能

３－２．有床診療所の病床の役割として担っている機能について

有床診療所については、医療機能とは別に、有床診療所の病床の役割として担っている機能について、次の①～⑤よりご選択のうえ、ご報告いただきます（複数選択可）。

- ① 病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能
- ② 専門医療を担って病院の役割を補完する機能
- ③ 緊急時に対応する機能
- ④ 在宅医療の拠点としての機能
- ⑤ 終末期医療を担う機能

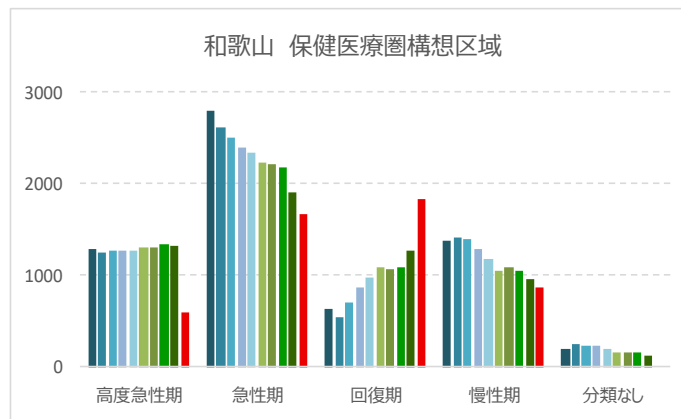
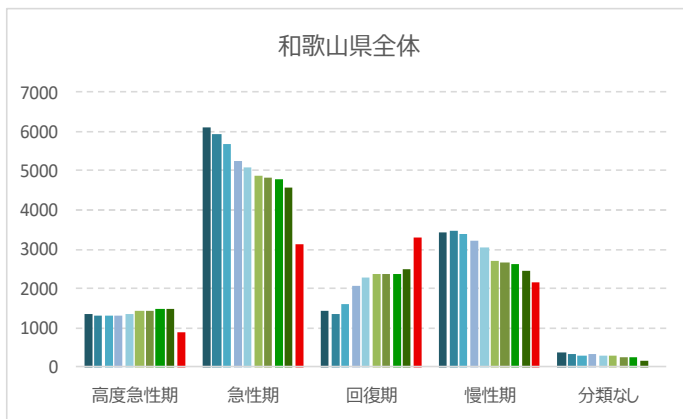
2023年の病床数 と 地域医療構想における2025年の必要病床数

(単位：床)

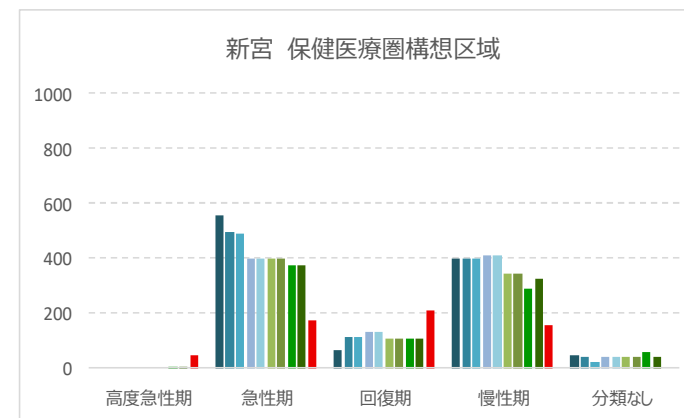
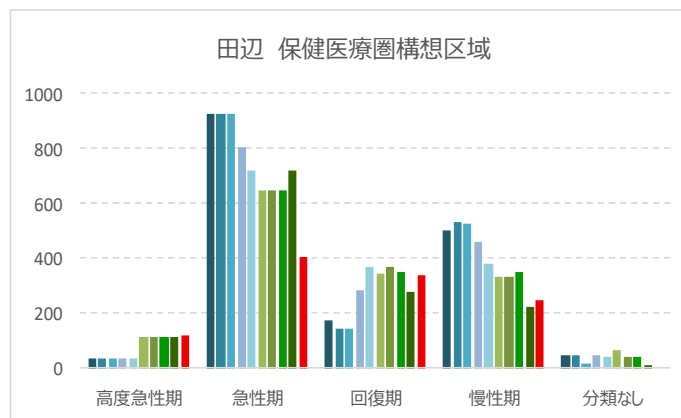
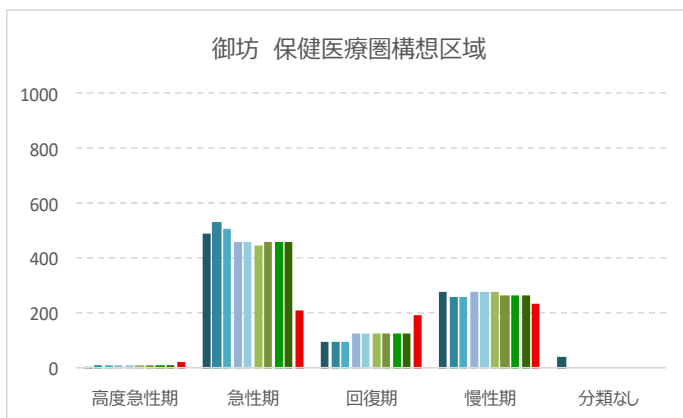
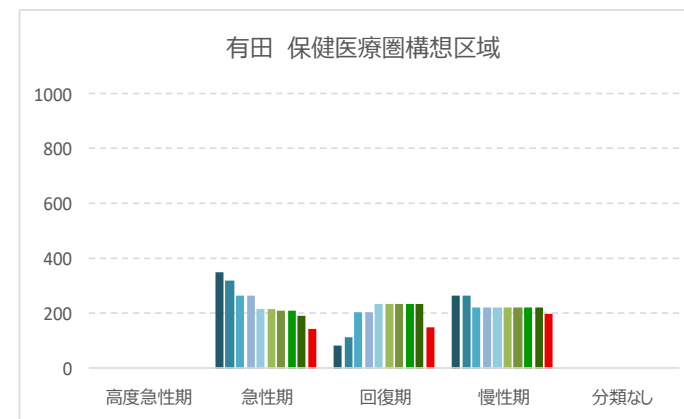
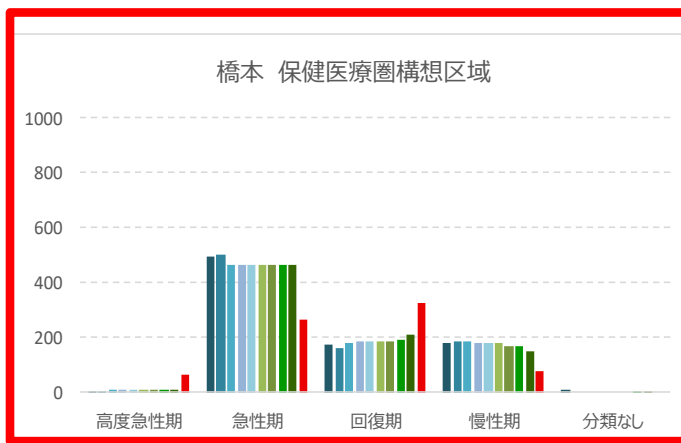
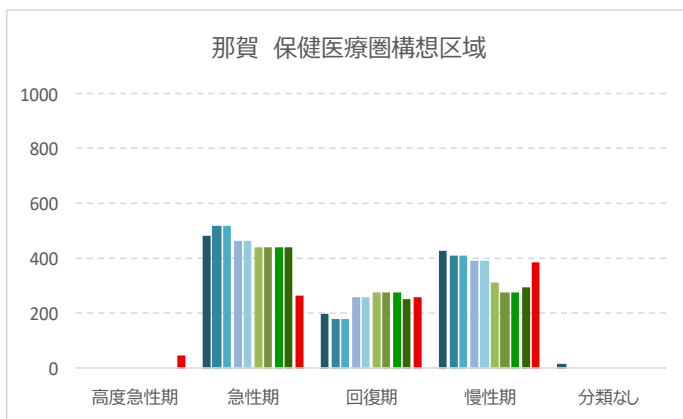
圏域名	医療機能	2023年 7月1日時点				2025年の 必要病床数 (地域医療構想)
		(対前年)	病院	診療所	重心 (再掲)	
和歌山	① 高度急性期	1,324	(▲ 22)	1,324		588
	② 急性期	1,913	(▲ 272)	1,773	140	1,674
	③ 回復期	1,266	(183)	1,214	52	1,836
	④ 慢性期	958	(▲ 91)	869	89	863
	⑤ 分類なし	116	(▲ 36)	50	66	
	小 計	5,577	(▲ 238)	5,230	347	4,961
那賀	① 高度急性期					48
	② 急性期	438		419	19	267
	③ 回復期	255	(▲ 19)	199	56	261
	④ 慢性期	293	(19)	274	19	385
	⑤ 分類なし				136	
	小 計	986		892	94	961
橋本	① 高度急性期	12		12		65
	② 急性期	466		448	18	267
	③ 回復期	212	(19)	193	19	327
	④ 慢性期	149	(▲ 19)	130	19	78
	⑤ 分類なし	2			2	
	小 計	841		783	58	737
有田	① 高度急性期					
	② 急性期	194	(▲ 15)	190	4	146
	③ 回復期	233		233		148
	④ 慢性期	223		204	19	201
	⑤ 分類なし					
	小 計	650	(▲ 15)	627	23	495

圏域名	医療機能	2023年 7月1日時点				2025年の 必要病床数 (地域医療構想)
		(対前年)	病院	診療所	重心 (再掲)	
御坊	① 高度急性期	8		8		20
	② 急性期	460		460		210
	③ 回復期	123		123		191
	④ 慢性期	267		249	18	234
	⑤ 分類なし				163	
	小 計	858		840	18	655
田辺	① 高度急性期	113		113		120
	② 急性期	718	(72)	706	12	404
	③ 回復期	275	(▲ 72)	256	19	340
	④ 慢性期	224	(▲ 127)	186	38	249
	⑤ 分類なし	8	(▲ 30)		8	
	小 計	1,338	(▲ 157)	1,261	77	1,113
新宮	① 高度急性期	5		5		44
	② 急性期	375		346	29	174
	③ 回復期	110		110		212
	④ 慢性期	325	(36)	325		154
	⑤ 分類なし	40	(▲ 17)	2	38	
	小 計	855	(19)	788	67	584
県計	① 高度急性期	1,462	(▲ 22)	1,462		885
	② 急性期	4,564	(▲ 215)	4,342	222	3,142
	③ 回復期	2,474	(111)	2,328	146	3,315
	④ 慢性期	2,439	(▲ 182)	2,237	202	2,164
	⑤ 分類なし	166	(▲ 83)	52	114	
	計	11,105	(▲ 391)	10,421	684	9,506

医療機能別病床数の推移 (棒グラフ)



2015年～2023年の病床数(一般病床・療養病床)は病床機能報告による



医療機関別の病床数

【橋本保健医療圏構想区域】 病院／有床診療所

(単位：床)

医療機関名	2023年7月1日現在 (A)						2022年7月1日現在 (B)						前年からの増減 (A) - (B)					
	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
病院	783	12	448	193	130	0	783	12	448	193	130	0	0	0	0	0	0	0
1 橋本市民病院	300	6	245	49			300	6	245	49			0					
2 紀和病院	299	6	54	109	130		299	6	54	109	130		0					
3 県立医大紀北分院	100		100				100		100				0					
4 山本病院	84		49	35			84		49	35			0					
有床診療所	58	0	18	19	19	2	58	0	18	0	38	2	0	0	0	19 ▲	19	0
5 高野山総合診療所	2					2	2					2	0					
6 梅本診療所	19				19		19				19		0					
7 岡田整形外科	19			19			19				19		0			19 ▲	19	
8 奥村マタニティクリニック	18		18				18		18				0					
橋本圏域計	841	12	466	212	149	2	841	12	466	193	168	2	0	0	0	19 ▲	19	0

医療機関別の病床数（２）

【橋本保健医療圏構想区域】 病院

（単位：床）

医療機関名		一般病床		療養病床		非稼働病床数（※１―※２）	入院基本料・特定入院料 及び 届出病床数（※１）																									
		許可病床数（※１）	最大使用病床数（※２）	許可病床数（※１）	最大使用病床数（※２）		急性期一般入院料１～３	急性期一般入院料４・５	急性期一般入院料６	地域一般入院料	一般病棟特別入院基本料	療養病棟入院料	入院基本料	特定機能病院一般病棟	障害者施設等入院基本料	救命救急入院料	特定集中治療室管理料	入院医療管理料	ハイケアユニット	管理料	新生児特定集中治療室	総合周産期特定集中	入院医療管理料	新生児治療回復室	小児入院医療管理料	回復期リハビリテーション病棟入院料	地域包括ケア病棟入院料	入院医療管理料	地域包括ケア	緩和ケア病棟入院料	サービス費等	療養型介護療養施設
病院		725	708	58	58	17	54	392			58		52				12							90		103	20					
1	橋本市民病院	300	293			7		245									6										(49)					
2	県立医大紀北分院	100	98			2		98																								
3	紀和病院	241	234	58	58	7	54				58		52				6						55		(54)	20						
4	山本病院	84	83			1		49															35									

（※１） ２０２３年７月１日現在



（※２） ２０２２年４月～２０２３年３月における「最も多く患者を収容した時点で使用した病床数」（病棟単位で算出したものを合計）

（注）入院基本料・特定入院料の届出病床数は病床機能報告により各医療機関から報告された数であり、厚生局が公表している施設基準の届出受理状況と一致しないものもあります。

医療機関別の病床数（２）

【橋本保健医療圏構想区域】 有床診療所

（単位：床）

医療機関名	一般病床		療養病床		非稼働病床数 （※１－※２）
	許可病床数 （※１）	最大使用病床数 （※２）	許可病床数 （※１）	最大使用病床数 （※２）	
橋本保健医療圏	38	31	20	20	7
1 高野山総合診療所	2				 2
2 梅本診療所	7	7	12	12	
3 岡田整形外科	11	11	8	8	
4 奥村マタニティクリニック	18	13			 5

（※１）２０２３年７月１日現在

（※２）２０２２年４月～２０２３年３月における「最も多く患者を収容した時点で使用した病床数」

<参考> 和歌山県における定量的基準②

2022年(令和4年)救急搬送件数ベース

(単位：件)

	二次 医療圏	病院名	初診医評価							総計
			死亡	重篤	重症	中等症	中等症	軽症	その他	
							以上			
1	和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター	184	1	424	3,213	3,822	3,934	1	7,757
2	和歌山	県立医科大学附属病院	173		745	2,612	3,530	2,508		6,038
3	田辺	国立病院機構南和歌山医療センター	107		341	1,283	1,731	1,727		3,458
4	和歌山	労働者健康安全機構和歌山労災病院	35		172	1,092	1,299	1,925	1	3,225
5	和歌山	済生会和歌山病院	8		53	748	809	1,775		2,584
6	橋本	橋本市民病院	66		289	895	1,250	1,053		2,303
7	田辺	紀南病院	59		195	709	963	1,286		2,249
8	那賀	公立那賀病院	90		145	749	984	1,185		2,169
9	新宮	新宮市立医療センター	36		225	697	958	789		1,747
10	和歌山	堀口記念病院			12	303	315	1,164		1,479
11	御坊	ひだか病院	36		196	423	655	686		1,341
12	田辺	白浜はまゆう病院	31		70	294	395	834		1,229
13	新宮	くしもと町立病院	43		130	446	619	488		1,107
14	和歌山	和歌山生協病院	1		9	271	281	704		985
15	御坊	北出病院	23		134	361	518	445		963
16	橋本	紀和病院	21		86	330	437	411		848
17	和歌山	海南医療センター	14		73	351	438	372		810
18	新宮	那智勝浦町立温泉病院	25	1	66	219	311	408		719
19	有田	有田市立病院	38		63	258	359	343		702
20	有田	済生会有田病院	28		104	229	361	247		608
21	和歌山	中江病院	1		3	122	126	440		566
22	那賀	貴志川リハビリテーション病院		1	91	164	256	279		535
23	和歌山	恵友病院	3		6	191	200	321		521
24	和歌山	誠佑記念病院	6		41	246	293	190		483
25	和歌山	国保野上厚生総合病院	29		56	176	261	197		458
26	田辺	田辺中央病院			28	85	113	254		367
27	橋本	山本病院	9		27	148	184	173		357
28	和歌山	橋本病院			11	85	96	241		337
29	和歌山	須佐病院			5	106	111	225		336
30	和歌山	和歌浦中央病院			6	77	83	243		326
31	那賀	稲穂会病院	2		3	169	174	110		284
32	御坊	国立病院機構和歌山病院	25		25	152	202	55		257
33	御坊	整形外科北裏病院	3		64	67	134	94		228
34	那賀	名手病院	8		20	77	105	113		218
35	有田	西岡病院	1		38	93	132	82	1	215
36	和歌山	向陽病院			6	35	41	159		200
37	和歌山	石本病院	7		5	97	109	83		192
38	和歌山	古梅記念病院	2		5	55	62	124		186
39	田辺	国保すさみ病院	10		8	47	65	97		162
40	那賀	富田病院	2		7	22	31	53		84

	二次 医療圏	病院名	初診医評価							総計
			死亡	重篤	重症	中等症	中等症 以上	軽症	その他	
41	橋本	県立医科大学附属病院紀北分院	1		5	48	54	30		84
42	和歌山	中谷病院	7		3	25	35	46		81
43	那賀	殿田胃腸肛門病院	1		6	41	48	30		78
44	有田	県立こころの医療センター			8	21	29	47		76
45	有田	桜ヶ丘病院	12		4	24	40	29		69
46	和歌山	高山病院				15	15	36		51
47	和歌山	上山病院				9	9	28		37
48	和歌山	児玉病院	2		1	17	20	16		36
49	和歌山	今村病院				7	7	26		33
50	和歌山	嶋病院	1		1	17	19	9		28
51	和歌山	宇都宮病院				18	18	9		27
52	和歌山	伏虎リハビリテーション病院			3	11	14	9		23
53	和歌山	宮本病院			5	6	11	11		22
54	和歌山	角谷整形外科病院			1	5	6	15		21
55	和歌山	河西田村病院				11	11	9		20
56	和歌山	稲田病院			3	11	14	3		17
57	那賀	紀の川病院				5	5	12		17
58	和歌山	福外科病院				10	10	6		16
59	和歌山	西和歌山病院	1			9	10	5		15
60	田辺	紀南こころの医療センター				3	3	10		13
61	和歌山	藤民病院			2	7	9	1		10
62	有田	有田南病院			2	4	6	4		10
63	和歌山	田村病院				2	2	7		9
64	和歌山	和歌浦病院			1	2	3	5		8
65	橋本	紀の郷病院			1		1	7		8
66	新宮	潮岬病院			2	2	4	3		7
67	和歌山	谷口病院				2	2	3		5
68	和歌山	琴の浦リハビリテーションセンター附属病院			2	1	3	2		5
69	和歌山	浜病院				1	1	1		2
70	新宮	日進会病院				1	1	1		2
71	和歌山	笠松病院						2		2
72	新宮	串本有田病院			1		1			1
73	新宮	岩崎病院						1		1
74	和歌山	瀬藤病院				1	1			1
75	和歌山	半羽胃腸病院						1		1

【出典】2022年 救急統計

和歌山県における定量的な基準②

救急搬送 中等症以上 ≥ 100件／年 ……【1】
 または 救急搬送 総計 ≥ 300件／年 ……【2】

【1】 【2】 いずれも満たさない病院は「急性期」と報告しない